

## 2012年7月14日15日・熊本県阿蘇地方豪雨災害・行方不明者捜索

### ■2012/07/14

#### 熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字立野・新所公民館西側土砂崩れ現場

出動した救助犬【熊本県からの要請による出動】

全日本救助犬団体協議会

- ・日本捜索救助犬協会 江口ビッシュ・松山（撮影）
- ・九州救助犬協会 坂本チェイサー・今里クロス・田中プリン・足立チャボ

8:00 より対策会議が開かれ、その後捜索に入る。

現場は、土砂と流木が広範囲で傾斜地の家屋を飲み込んでいる状況。

捜索中は二次災害を防ぐために見張りを立てる。

雨は降り続き、足元はひどくぬかるみ、犬も人もすぐに泥だらけになった。

場所によっては膝下まで泥に埋まり、ただ歩くことさえ困難な状況であった。

重機で流木・土砂を取り除き、救助犬を入れる。

救助犬の反応がなければ、また重機を入れることを繰り返す。

18:30 重機で土砂を取り除いている最中に、行方不明者1名・ご遺体で発見される。

### ■2012/07/15

#### 熊本県阿蘇市内4箇所・豪雨災害現場

出動した救助犬【熊本県警の捜索活動に同伴する】

全日本救助犬団体協議会

- ・日本捜索救助犬協会 5頭
- ・九州救助犬協会 7頭

直轄警察犬 2頭

嘱託警察犬 1頭

8:00 「べんとうのヒライ」駐車場に集合

8:30 熊本阿蘇警察署にて打合せ・班分け。4班に分かれる。

- ・阿蘇市一の宮町坂梨・・・直轄警察犬2頭・嘱託警察犬1頭
- ・阿蘇市三久保・・・・九州救助犬協会3頭
- ・阿蘇市一の宮町三野・・・九州救助犬協会4頭
- ・阿蘇市石的・・・・日本捜索救助犬協会5頭  
江口レディ・ユッタ・ビッシュ  
坂根アジュガ  
廣瀬アルディ  
松山（撮影）

※各捜索現場の行方不明者1名

以下、的石での記録。

### 熊本県阿蘇市的石・道路の冠水によりクルマと共に流された人の捜索

(捜索範囲：黒川・大正橋～車帰橋)

9:00 1回目の捜索開始

捜索現場の責任者から、行方不明者が流されてから今日で4日目との説明を受ける。

行方不明者が流されたところを目撃された地点より、約200m上流の大正橋～下流側の下鶴橋までを捜索。

主に左岸をレディ、右岸をアジュガ・アルディが捜索。

10:30 1回目の捜索終了・待機。

11:30 2回目の捜索開始

1回目の捜索でレディが捜索した場所をアジュガ・アルディが、アジュガ・アルディが捜索した場所をユッタが捜索。

大正橋から下流約150m地点の左岸でユッタが反応。

土手を駆け下りる。

対岸にある竹藪のあたりを気にしているようだった。

また、対岸には人もいて、それに反応している可能性もあった。

大正橋を渡り右岸に移動。

先ほど左岸で反応した地点にさしかかると、再度反応し土手を駆け下りる。

ユッタを呼び戻し、一旦上流側に50mほど戻り、再度ユッタの反応を見る。

やはり反応することを確認する。

ビッシュ・アジュガ・アルディで確認作業をする。

ビッシュ・アルディはユッタと同じ地点で反応する。

アルディは竹藪の奥で鯉の死骸を見つける。

3頭は鯉の死骸に反応した可能性もあることがわかった。

13:30 熊本県警察に反応があった場所を伝える。

捜索してもらうが何も見つからず。

左岸の竹藪には鼠の死骸があった。

竹藪に近づくと鼠の死骸あるところ以外の場所でも悪臭が漂っている。

豪雨の直後で水量が多く、流れも速いため、川岸のみの捜索でひとまず終了する。

14:50 3回目の捜索開始。

下鶴橋～車帰橋間を捜索。

反応なし。

16:30 熊本県警からの連絡により、この日の救助犬による搜索は終了することになった。  
豪雨災害のあとのさまざまな生活臭・汚泥臭・動物の死骸臭・豚舎の臭いなど人間にもわかる臭いが黒川周辺に漂い、困難な搜索であった。

※的石で搜索していた行方不明者は、2日後(17日)に救助犬で搜索していた場所より約1 km下流の調整池(赤水地区)でご遺体で発見された。